

最終1月 京大本番レベル模試

採点基準 英語

全体の基準

*原則として次の基準に従うものとする。各問ごとの追加基準がある場合はそちらが優先される。

- ・原則として減点方式により採点する。
- ・各小問は、全体をいくつかの部分に分けて点数を分配する。
- ・部分ごとに、解答が明らかに未完である場合、その部分については点数を与えない。
- ・同一の誤りが複数回ある場合、減点は原則初出の1回のみとする。
- ・誤字・脱字・スペルミスは、1語につき**マイナス1点**

内容説明・英文和訳（大問Ⅰ・Ⅱ）の基準

*以下の項目に関して、1点から3点の幅で減点する。

- ・単語の誤訳や文脈上不自然な訳は、1つにつき**マイナス1点**を原則とする。但し、意味・構文上大きな誤りは**マイナス2点**とする。訳漏れの場合は単語の種類によって次を原則とする。即ち、**修飾語**は欠如しても意味・構文に影響が少ない場合、**マイナス1点**。**内容語**と**機能語**は欠如すると意味・構文に影響するので、原則**マイナス2点**とする。

単語の種類	誤訳	欠如
修飾語（限定形容詞・副詞・冠詞・助動詞）	-1	-1
内容語（名詞・代名詞・動詞・叙述形容詞）	-1	-2
機能語（従属接続詞・前置詞）	-1	-2

- ・イディオム・文法・語法・構文の知識不足による誤訳は、単語の誤訳に倣う。文脈の把握ミスによる致命的な誤訳は、1つにつき**マイナス3点**を原則とする。但し、与えられた配点を超えた減点はしない。

英作文問題（大問Ⅲ・Ⅳ）の基準

*部分ごとに基準がない場合、以下の項目に関して、1点から3点の幅で減点する。

- ・単語の誤訳・訳漏れは、上記和訳問題に同じ。
- ・イディオム・文法・語法・構文の知識不足による誤訳及び適切性を欠く訳は上記和訳問題に準ずる。また、SVOの語順、従属接続詞や前置詞の後置など致命的な構文上の誤りは、1つにつき、**マイナス3点**を原則とする。

配点表				
大問	小問等	内訳	小問得点	大問得点
I	問 1	下線部内容説明	15	50
	問 2	下線部和訳	20	
	問 3	下線部和訳	15	
II	問 1	下線部内容説明	15	50
	問 2	下線部和訳	17	
	問 3	下線部和訳	18	
III		和文英訳		25
IV		自由英作文		25
合計			150	

大問 I

【基準・配点】

次の要素に以下の点を配す。以下に言及のない誤訳・ミスは1つマイナス1~2点を原則とする。

問1 (15点)

区分		配点
①	while these newly-wealthy businessmen were keen to show off their success, 「新たに富を得たこれらの実業家たちは、自らの成功を誇示するのに躍起だったが、」	4
②	there were certain expectations that had to be abided by for the sake of propriety. 「礼節を守るためには、従わざるをえない一定の期待が存在した。」	5
③	【certain expectations の具体説明】 必須要素=教会, ギルド 一定の期待とは、キリスト教会の教えとギルドの規則に従って行動するという社会的要請を指す。	6

問2 (20点)

区分		配点
①	Like most merchants of the era, they are likely to have traded in a diverse range of goods. 「その時代のほとんどの商人同様、彼らは幅広い商品を扱っていたようである。」	4
②	However, any allusion to this merchandise is conspicuous by its absence, perhaps because it was too closely associated with manual labor. 「しかし、これらの商品をほのめかすどんなものも描かれていないことが却って目立つ。おそらくそれが肉体労働とあまりに密接に結び付いたからであろう。」	8
③	Instead, they chose to show themselves lavishly dressed and surrounded by letters, documents and writing materials. 「代わりに、彼らは豪華に着飾り、書簡や公文書、筆記用具に囲まれた姿を披露する方を選んだ。」	5
④	It was their status and wealth that they wished to emphasize. 「彼らが強調したかったのは、自らの地位と富だったのである。」	3

問3 (15点)

区分		配点
①	Although the status and wealth of women was equally obvious in the fine clothing and jewelry they wore in their portraits, 「女性の地位と富は、彼女たちが肖像画の中で身に着けている上等な衣服や宝石類を見れば同じくらい明らかだったが、」	5
②	it was their beauty and virtue that patriarchal expectations forced them to emphasize, 「家父長たちの期待によって強調させられたのは彼女たちの美しさと貞淑さであり」	5
③	the former often being thought of as a physical manifestation of the latter. 「しばしば美しさは貞淑さが体現されたものと考えられていた。」	5

大問II

【基準・配点】

次の要素に以下の点を配す。以下に言及のない誤訳・ミスは1つマイナス1~2点を原則とする。

問1 (15点)

区分		配点
①	That increase of 6 slices is what's at stake or what I call the negotiation pie. 「その6切れの増加こそ賭けにかかっているもので、私が交渉のパイと呼ぶものである。」	5
②	【扱い方とその理由】 交渉のパイは、その分け方に合意する報酬で、双方が合意に等しく寄与するから二等分すべきである。	10

問2 (17点)

区分		配点
①	One way to see the weakness of the ratio argument is 「比率に基づく主張の弱点を理解する方法の一つは、」	2
②	to consider a differently situated Bob who would only get crumbs if there's no deal. 「取引が成立しなければピザくずしかももらえないであろう、別の立場に置かれるボブのことを考えることである。」	6
③	Trying to mimic the ratio of fallbacks in that instance would lead to absurdly high ratios of slices (approaching infinity), 「その場合に最低保障の比率にならおうとすると、やたら高い(無限大に近づく)パイ切れの配分比率になり、」	7
④	suggesting nearly all 12 slices go to Alice. 「12切れのほぼすべてがアリスの手に渡ることを示唆するだろう。」	2

問3 (18点)

区分		配点
①	In theory, the division should remain at 6:6. That is not going to happen. 「理屈では、分け方は6対6のままにすべきである。だが、それは起こらない。」	4
②	Alice would rather reject the deal—which gives her 7 slices—than accept 6 slices. 「アリスは6切れを受け取るより取引を拒否したいと思う。そうすれば、7切れもらえるからである。」	6
③	While this flaw in an even split may not be apparent when the fallbacks are 4 and 2 slices, 「均等割りのこの欠陥は最低保障が4切れと2切れのときには明白でないかもしれないが、」	4
④	we see that as a rule for fairness, splitting the total in two is fundamentally flawed. 「公平性のルールとして全体を二つに分けることには根本的な欠陥があることが分かる。」	4

大問Ⅲ (25点)

- 語句レベルで不適切な箇所は、程度に応じて1カ所につき－1～2点。

区分		配点
①	「真の友人とは？」と尋ねられたら、答えは人の数だけ様々かもしれない。	5
②	私の経験からいえば、前に踏み出したものかためらっている時に、背中を押してくれる人である。	5
③	真の友なら心の支えとなるだけでなく、時には対立することもあるだろう。	5
④	岡目八目というが、客観的な立場にいないと状況を正しく判断できないものだ。	5
⑤	この意味では、ここぞという人生の分かれ道で、間違った方向に進まないように意見してくれる人でもある。	5

大問Ⅳ (25点)

【基準・減点】

以下に言及のないミスは全体的基準に従う。

1. 形式面

- ・解答欄をはみ出した部分（途中からはみ出した文も含む）は、採点対象にしない。
- ・語数が49語以下、151語以上のものは、採点対象にしない。

2. 内容面

- ・次の内容を満たさないものは、以下の減点。
 - (1) 英語を学ぼうと最も重要と考えること1つ：2つ以上挙げたものや欠如はマイナス25点。
 - (2) 上記を挙げた理由：欠如はマイナス10点。不適切なものはマイナス5～10点。
 - (3) その達成のために実践していること：欠如はマイナス25点。不適切なものはマイナス5～25点。

3. 文法面

- ・文法・語法のミスは各マイナス1点。